

新宮山彦ぐるーぷ第1900回の2

行仙宿の巡回整備(ストーブ底鉄板取替と次回行事の準備など)

◇実施日：平成28年10月10日(月) 快晴 気温18℃

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男・千満子、
畑林清子。 6名。

今年の夏は、台風と秋雨前線の影響で天候が不順であったが、
本日は今までにない日本晴である。沖崎車に6名が乗る。

ストーブ底鉄板とサンダー等の道具類並びにビール1箱(玉岡
さん寄贈)、清酒4合瓶2本(椎木)、焼酎4合瓶2本(川島)等を荷
上げた。

小屋に到着するとザツクが置いてあり、昨夜宿泊し笠捨山へ行
っている様である。



M機終点で荷降し 久しぶり晴天・笠捨山 ストーブ組み直し

児嶋さんは、冬を迎えるためストーブ底鉄板が熱劣化しており
修復取替に、川島さんとストーブを組み直し、断熱材パライト
を再利用のため手箕とスチロール箱に入れ、底鉄板を取り出す。

鉄板1mm+ステン2mm厚さから鉄板5mmにする。鉄板に排気穴明

け及びビス留の穴明け加工のため、発電機を廻し、サンダーとド
リル加工の作業となり児嶋さんに任す。

川島・沖崎・生熊敏さんの3人は、午前中、東側犬走りのコンク
リート再舗装のため、浮いた箇所のある既存舗装面を大ハンマー
で叩き割り、ゲンノウで細かく砕いて砕石2袋を入れ均して、金
網敷いて次回行事の下準備をする。又、毛布棚下のセメントを確
認すると共に不用品を整理する。



東側犬走り再舗装の為、舗装面を割り砕き砕石敷き

畑林・生熊千さんは、トイレ・小屋・管理棟・行者堂の掃除と
整理整頓をする。又、食料品の在庫調べをする。

11時過ぎに大阪近辺の8名グループが、笠捨山から戻り昼食、
13時前に白谷とトンネ東口登山口へと下山。

児嶋さんは、底鉄板に煙突径の穴を明け、ステン煙突と断熱材
を詰めるオイル缶を底鉄板に固定するビス穴が明けられ、組立て
るだけとなり11時45分作業を止め、我々も昼食とする。

児嶋さんは、家族に移されたらと風邪声である。

昼食後、沖崎・生熊さんは、チェンソーの点検と十津川村の間
伐材を次回行事(医療法人・やまびこ会)もはらクリニツクの道普
請)に来て頂いた時に、道までの引上げと桟木作り作業のため、長
さ4mに切断する作業に携わる。

児嶋さんと助手・川島さんの2名は、ストーブの組立てにかかり、14時頃に組立据付完了！
生熊敏・沖崎さんに作業終了を伝え、コーヒードで休憩後、本日作業者の写真を撮り、14時50分に下山する。



昼食・休憩



底鉄板取替加工完了



本日の作業者

行動タイム

新宮 7:55→9:20 補給路登山口 9:35→9:45 モノレール終点↓
10:05 行仙宿↓作業↓11:45 昼食↓12:35↓作業 14:15 行仙宿 14:50
→15:20 補給路登山口 15:30→17:00 新宮。 (記 畑林清子)